

令和3年度

第1回 摂津市健康づくり推進協議会

1 日時 令和3年8月(書面開催)

2 案件

【議題】

- (1) まちごと元気！健康せつつ21(第2次改訂版)計画 進捗管理
について(令和2年度実績及び令和3年度事業計画)
(資料1)
- (2) 新型コロナウイルス感染症状況下における健康づくりについて
(資料2)

【その他情報提供など】

- (1) 令和2年度 予防接種実施報告(資料3)
- (2) 新型コロナワクチン予防接種事業について(資料4)

1 生活習慣病の早期発見・重症化予防

資料 1

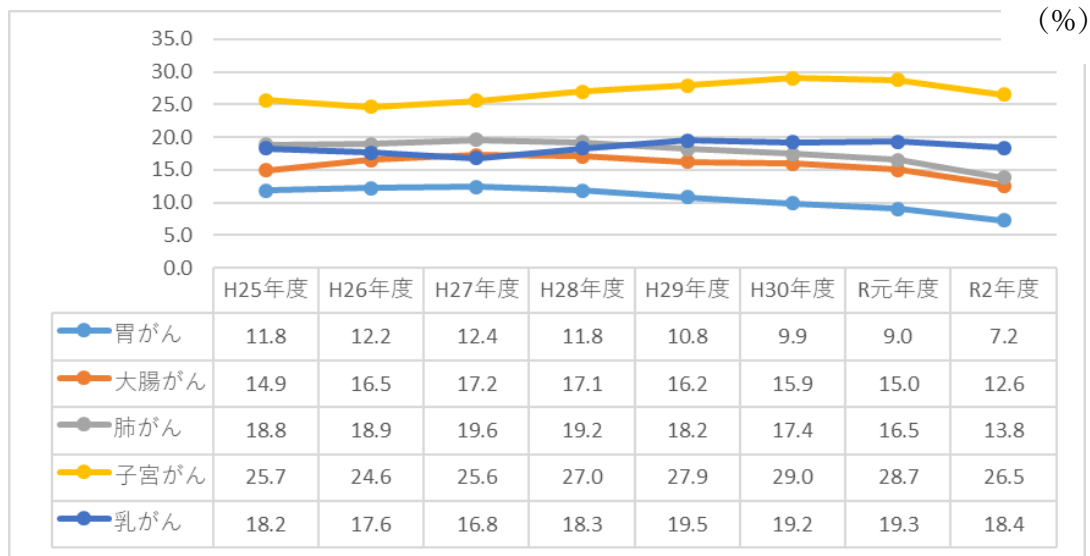
(1) がん検診の推進

目標	
○がん検診の受診率向上を図る。	
○がん検診の結果、精密検査が必要な場合はその結果を把握するとともに、未受診の場合は医療機関で精密検査を受けるよう促し、がんの早期発見・治療につなげる。	
○検診受診率の向上、早期発見・治療により、がんによる死亡が減少する。	

項目	目標項目	H20-24	H25-29	目標値
3	悪性新生物 SMR (標準化死亡比) 男	109.5	114.0	100
	悪性新生物 SMR (標準化死亡比) 女	102.0	108.5	未満

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
4	胃がん検診受診率	10.8%	9.9%	9.0%	7.2%			40%
5	肺がん検診受診率	18.2%	17.4%	16.5%	13.8%			35%
6	大腸がん検診受診率	16.2%	15.9%	15.0%	12.6%			30%
7	子宮頸がん検診受診率	27.9%	29.0%	28.7%	26.5%			35%
8	乳がん検診受診率	19.5%	19.2%	19.3%	18.4%			40%
9	がん検診精密検査受診率	85.2%	81.5%	89.0%	集計中			90%

図表 1 がん検診受診率推移



図表2 がん検診精密検査受診状況（胃・大腸・肺・子宮・乳がんの合計）

	対象者数	受診者数	受診率	要精密検査者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率
H23年度	98,052	16,728	17.1%	608	3.6%	504	82.9%
H24年度	98,052	16,453	16.8%	606	3.7%	534	88.1%
H25年度	98,052	17,259	17.6%	643	3.7%	550	85.5%
H26年度	98,052	17,416	17.8%	652	3.7%	532	81.6%
H27年度	101,919	18,441	18.1%	782	4.2%	661	84.5%
H28年度	101,919	18,650	18.3%	906	4.9%	772	85.2%
H29年度	101,919	18,304	18.0%	799	4.4%	651	81.5%
H30年度	101,919	14,433	14.2%	882	6.1%	785	89.0%
令和元年度	101,919	13,305	13.1%	653	4.9%	577	88.4%

【令和元年度取組み】

- ・未受診者への受診勧奨の継続実施、がん検診の周知啓発
- ・受診機会の拡大

【令和2年度に向けた課題】

- ・がん検診受診率の向上
- ・精密検査受診率の向上
- ・個別検診の受診機会の拡大

【令和2年度計画】

- ・対象者に応じて内容を工夫した周知啓発の実施。
- ・タイムリーに精密検査受診状況を把握し、受診勧奨を行う。

【令和2年度取組みと評価】

- ・乳がん検診実施機関を1機関増やし、受診機会を拡大した。
- ・乳がん検診の比較読影を行えるような体制を検討した。検診実施機関と調整した結果、令和3年度より、必要に応じて比較読影を実施できる体制をつくった。
- ・未受診者への受診勧奨の個別通知を封書から圧着ハガキに変更し、わかりやすい内容に変更した。
- ・子宮がん検診要精検者の受診確認を3か月ごとに実施し、タイムリーに受診勧奨を実施した。その結果、要精密検査者は概ね受診されていた。

【令和3年度に向けた課題】

- ・がん検診受診率の向上
- ・受診機会の拡大

【令和3年度計画】

- ・さまざまな機会を通じてがん検診の周知啓発をする。
- ・受診場所や日時など様々な年代に合わせて受診機会を設定する。

(2) 特定健診・特定保健指導の推進

目標

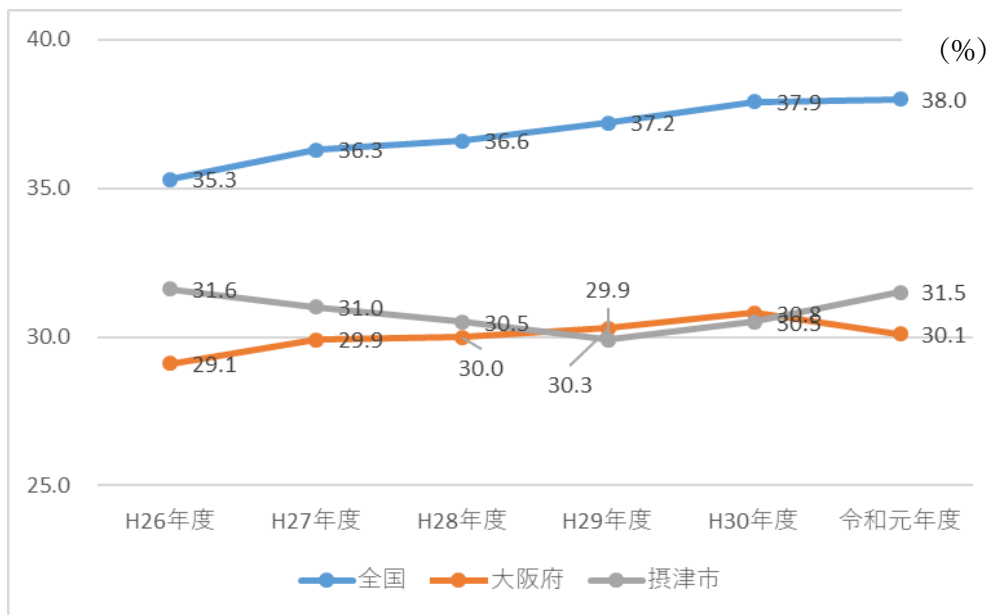
- 市民が自らの健康状態を把握できるよう、特定健診の受診率向上を図る。
- 特定健診の結果、肥満・高血圧・高血糖・脂質異常などの所見があった場合などは、保健指導により要因となっている生活習慣を改善し、肥満の解消や疾病予防を行う。

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
10	特定健康診査の受診率	29.9%	30.5%	31.5%	23.9% (暫定値)			60%
11	特定保健指導の実施率	48.1%	43.0%	49.0%	62.6% (暫定値)			60%

※令和2年度の法定報告は11月に確定。

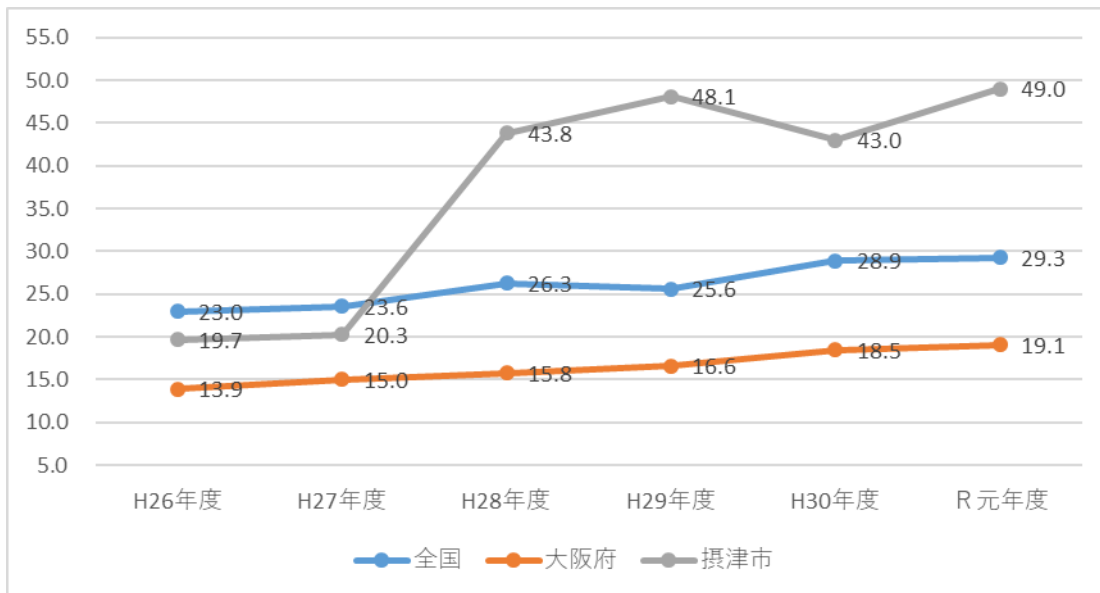
図表3 特定健康診査の受診率（法定報告）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
全国	30.9	31.4	32.0	32.7	33.7	34.2	35.3	36.3	36.6	37.2	37.9	38.0
大阪府	24.9	25.5	26.7	27.3	27.7	27.9	29.1	29.9	30.0	30.3	30.8	30.1
摂津市	26.9	28.3	28.8	27.1	28.8	30.7	31.6	31.0	30.5	29.9	30.5	31.5



図表4 特定保健指導の実施率（法定報告）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
全国	14.1	19.5	19.3	19.4	19.9	22.5	23.0	23.6	26.3	25.6	28.9	29.3
大阪府	7.3	11.6	12.6	12.5	13.1	14.0	13.9	15.0	15.8	16.6	18.5	19.1
摂津市	17.0	16.3	10.1	16.5	19.4	23.6	19.7	20.3	43.8	48.1	43.0	49.0



【令和元年度取組み】

(特定健康診査)・従前の取組に加えて安威川以南地域で土・日曜日に出張型の特定健康診査(集団健診)を未受診者対策として実施。

(特定保健指導)・特定健康診査(集団健診)当日の初回面談(プレ指導)を実施。

【令和2年度に向けた課題】

(特定健康診査)・特定健診受診率の向上

(特定保健指導)・特定保健指導の実施率の向上

【令和2年度取組みと評価】

(特定健康診査)・新型コロナウイルス感染症の影響により前年度と比較して受診者数は減少したものの、電話やハガキでの勧奨を実施するとともに、集団・個別いずれにおいても感染症対策を講じて実施した。

(特定保健指導)・対象者へ健診結果説明会の実施及び参加案内文書の送付を行い、不参加者には電話による参加勧奨を実施するとともに、電話や面談等による指導を行った。

【令和3年度に向けた課題】

(特定健康診査)・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施に努める。

- ・令和2年度において実現できなかった出張型集団特定健診の実施を図る

(特定保健指導)・特定保健指導の対象者にもれなく指導が行き届くように、効果的な参加勧奨手法を検討、実施する。

【令和3年度計画】

(特定健康診査)・出張型集団特定健診の実施の経常化を図る。

- ・AIを活用し、ナッジ理論を取り入れた受診勧奨ハガキの送付などの新規事業も実施し、受診率向上を図る。

(特定保健指導)・健診当日における簡易な面談(プレ指導)を引き続き実施し、利用者増を図る。

(3) 循環器疾患対策の推進

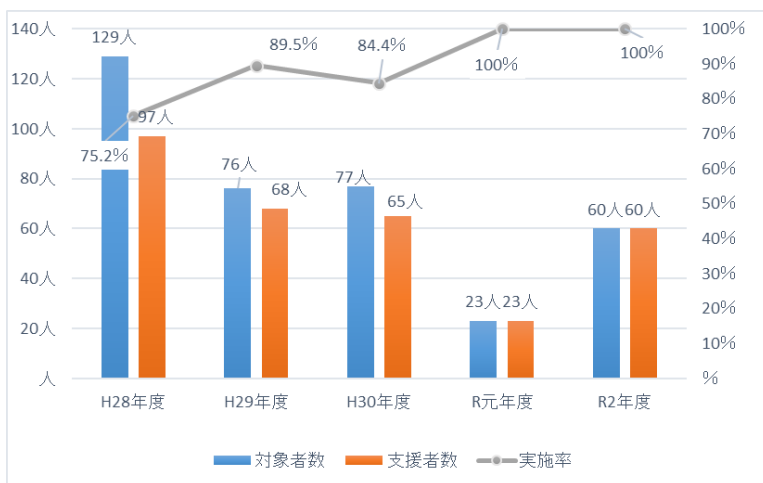
目標	
○特定健診の結果、肥満・高血圧・脂質異常などがあった場合には、生活習慣の改善及び必要時に医療機関受診を促し、重症化を予防する。	
○生活習慣病予防に関する情報発信を積極的に行い、市民がよりよい生活習慣を身につけることにつなげる。	
○上記により、結果として脳血管疾患や心疾患等による死亡が減少する。	

項目	目標項目	H20-24	H25-29	目標値
12	脳血管疾患の標準化死亡比(SMR)	男 91.4	男 80.9	現状値より減少
		女 55.6	女 84.9	
13	心疾患の標準化死亡比(SMR)	男 108.6	男 104.0	100 未満
		女 101.4	女 103.3	

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
14	収縮期血圧(平均値)	男 131.6 mmHg	男 131.7 mmHg	男 130.4 mmHg	*R3年 11月確定			男 128.5 mmHg 女 127.4 mmHg H20年度比 4 mmHg 低下
		女 129.0 mmHg	女 128.1 mmHg	男 128.2 mmHg	*R3年 11月確定			
15	血圧高値(収縮期血圧 160 mmHg 以上または拡張期血圧が 100 mmHg 以上)の者の割合(服薬者含む)	男 6.0%	男 6.5%	男 4.2%	*R3年 11月確定			男 4.6% 女 3.0% H24年度比半減
		女 5.0%	女 4.6%	女 3.6%	*R3年 11月確定			
16	血圧高値(収縮期血圧 180 mmHg 以上または拡張期血圧が 110 mmHg 以上)の者の割合(服薬者含む)	男 0.7%	男 0.7%	男 0.9%	*R3年 11月確定			男 0.6% 女 0.5% H24年度比半減
		女 0.8%	女 0.7%	女 0.7%	*R3年 11月確定			

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
17	脂質異常 (LDLコレステロール 140mg/dl以上) の者の割合 (服薬者含む)	男 21.4%	男 23.4%	男 23.2%	*R3年 11月確定			男 19.3% 女 21.5% H29年度比 10%減
		女 23.9%	女 28.5%	女 27.2%	*R3年 11月確定			
18	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	該当者 19.8%	該当者 20.7%	該当者 21.0%	*R3年 11月確定			該当者 14.8% 予備群 10.1% H20年度比 25%減
		予備群 13.0%	予備群 13.0%	予備群 14.0%	*R3年 11月確定			

図表5 ハイリスクアプローチ (早期受診勧奨)



【対象者】

～H28年度

- 高血圧 (180/110以上)
- 高血糖 (HbA1c8.0%以上)
- 脂質異常 (55歳未満かつ180mg/dl以上)
- 肝機能 (GOT・GPT100IU/l以上)

H29年度 変更点

- 肝機能はグラフから削除 (文書指導)

H30年度 変更点

- 高血糖 (HbA1c7.0%以上)

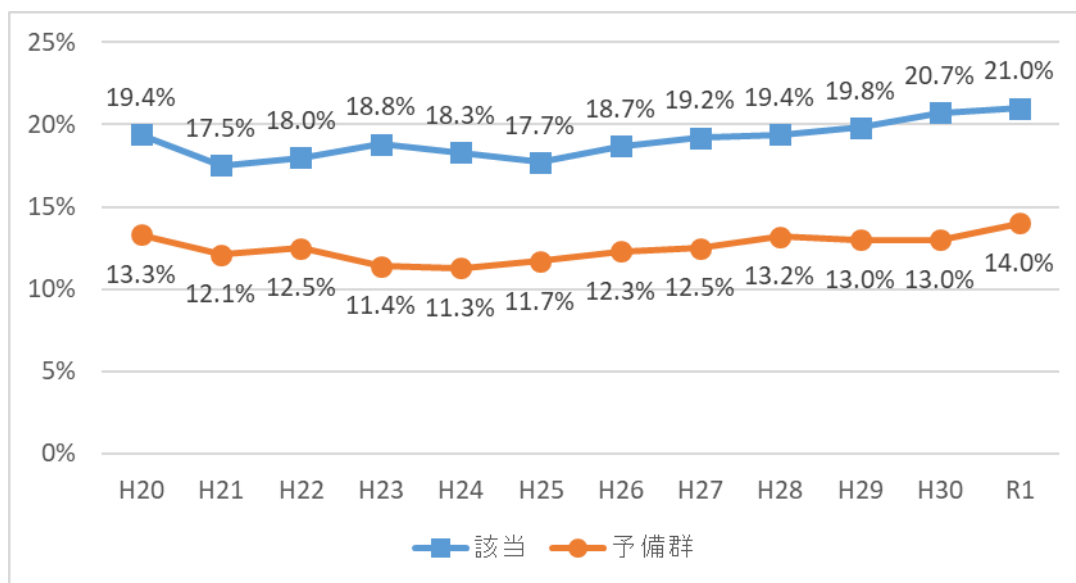
【目標値】(データヘルス計画)

保健指導実施率 85%

R元年度～

- レセプトを確認のうえで、受診勧奨

図表6 メタボリックシンドローム 該当者・予備群の推移



【令和元年度取組み】

- 健診後の受診状況を把握しつつ、未受診者に対して受診勧奨、生活習慣改善に向けての支援等を実施。
- 食堂売店での減塩商品販売についての支援及び市民等へのPRを実施。
- ホームページや広報等を活用した生活習慣病予防に関する情報発信の実施。

【令和2年度に向けた課題】

- 受診後にタイムリーな支援が十分にできていない事例がみられた。
- 受診につながる割合が特に脂質異常症の方は低い状況がみられた。

【令和2年度計画】

- 支援方法や時期を見直し、タイムリーな支援を行う。
- 支援の際に使う資料等を見直し、効果的な支援を検討・実施する。

【令和2年度取組みと評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり電話中心の支援であったが、健診結果送付後タイムリーに支援することができた。
- 食堂売店での減塩商品の販売についての支援及び市民等へのPRを継続した。
- 健康づくり推進月間に循環器疾患予防についての啓発動画を作成し、ホームページ上で配信した。

【令和3年度に向けた課題】

- 脳血管疾患や虚血性心疾患などの循環器疾患予防のため、現在実施している健診後のハイリスクアプローチ（個別アプローチ）について、現在は、高血圧・脂質異常・糖尿病それぞれ単独で基準を設けて対象者を抽出している。しかし、これら危険因子が重複している場合に、よりその危険度が増すことから、重複した場合の基準を設けるなどの検討及び見直しが必要である。
- 40～50歳代での発症も多く、幼少期を含む若い世代からの生活習慣改善についての啓発が必要である。
- 実際に発症している者は定期的に健診を受診していない状況が伺えたことから、受診勧奨の強化とポピュレーションアプローチの効果的な方法について検討が必要である。

【令和3年度計画】

- 健診受診者への受診勧奨をタイムリーに行い、医療につなげる。
- 動画配信による啓発を実施する。
- ハイリスク者の基準について見直しを行なう。

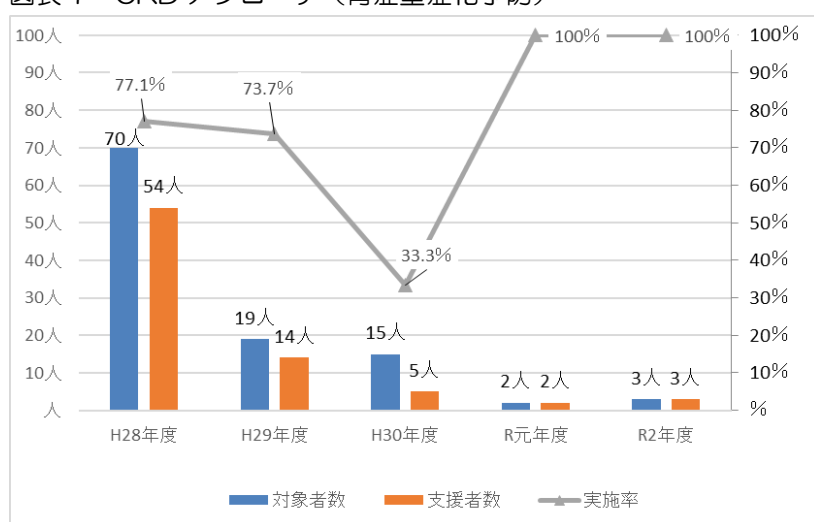
（4）糖尿病対策、慢性腎臓病（CKD）対策の推進

目標

- 健診結果で血糖が高値だった場合、生活習慣の改善及び必要時に医療機関を受診することにより、重症化を予防する。
- 重症化予防に取り組み、糖尿病による合併症を予防する。
- 腎機能低下がみられた際には、主治医と連携し、腎専門医への受診勧奨や生活指導を行うことにより、末期腎不全への進行を遅らせる。

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
19	血糖高値の者の割合 空腹時血糖値 \geq 126mg/dl 随時血糖値 \geq 200mg/dl HbA1c (NGSP) \geq 6.5%	9.3%	9.9%	11.3%	*R3年 11月確定			8.7% 未満 H27年度から 減少

図表7 CKDアプローチ（腎症重症化予防）



【対象者】

～H28年度
e-GFR 基準値に該当する者

【変更点】

H29年度～

e-GFR の下限を 15 とした

e-GFR 基準値該当者かつ尿蛋白十
以上で人工透析者を除く

H30年度～

人工透析者等を除く

【目標値】（データヘルス計画）

保健指導実施率 85%以上

R元年度～

レセプトの主病名が腎疾患で治療
中、透析、腎専門医受診中は除く

【令和元年度取組み】

- 糖尿病の未治療・治療中断者を抽出し、受療に向けた支援を実施した。
- 個別ケースへの支援においては、適宜、医療機関とも連携を図った。
- CKD 対策について、連携に向けて検討した。

【令和2年度に向けた課題】

- 受療支援の方法や対象者が適切か、実際に受療につなげるための方法の検討等が必要。

【令和2年度計画】

- 特定健診を受けてから受療の支援を行うまでの流れを整理し、速やかに支援を実施する。また、受療につながったかどうかをレセプトで確認し、つながっていない場合は継続的に支援を行う。
- 血糖高値者への支援や、腎専門医への導入についてなど、医師会等関係機関と相談しながら検討する。

【令和2年度取組みと評価】

- 健診結果から、糖尿病の未治療・治療中断者を抽出し、受療に向けた支援を実施した。未治療者については13名中7名、治療中断者については10名中3名が治療を開始した。
- 中断者の中で、経済的な困窮により受診につながっていなかった対象者については、関係機関と連携したことで受診につながった。
- CKDの支援対象者3名については、全てにアプローチできた。

【令和3年度に向けた課題】

- 糖尿病の治療中断者は健診も中断しており、保健師からの支援についても拒否的な場合も多い。アプローチのタイミングや方法については検討が必要。
- CKDの専門医紹介の基準については、医療機関との共通の認識や、スムーズな紹介に向けて、連携方法やルールの整理が必要である。
- 健診結果とは別に、新規透析導入となった方の状況を見ると、原疾患は糖尿病性腎症が半数以上占め、約4割が40～50歳代での導入となっている。幼少期を含む若い世代からの生活習慣改善についての啓発が必要。

【令和3年度計画】

- 糖尿病の未受診者については健診後速やかに受診勧奨を行い、受療の状況を確認する。受療につながっていない場合は継続して支援する。
- CKDの腎専門医への連携について整理する
- 健診未受診者へのポピュレーションアプローチの効果的な方法について検討する。

2 生活習慣の改善

(1) 栄養・食生活

目標	
○	子どもの頃から、食の楽しみを知り食に対する関心を深めるとともに、正しい食習慣を身につけることができるよう、食育を推進する。
○	栄養・食生活に関する情報発信を強化していくことで、正しい知識の普及に努め、食生活の改善を図ることにより、生活習慣病の予防や改善につなげる。
○	必要時には、専門職による個別支援を行い、食生活の改善を図り、生活習慣病の重症化予防を行う。

項目	目標項目	H30年度 (2018)	次回 アンケート結果	目標値
21	共食(夕食)の割合(小5)	96.4%		現状値より 上昇
	共食(夕食)の割合(中2)	94.4%		
23	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事1日2回以上の割合	42.9%		73.5%
24	薄味にしている人の割合	34.6%		41.7%

項目	目標項目	H28 年度 (2016)	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	目標値
20	朝食を毎日食べている割合(小6)	81.7%	81.9%	80.1%	80.6%	-		現状値より上昇
	朝食を毎日食べている割合(中3)	79.1%	79.5%	72.5%	75.3%	-		
22	離乳食講習会の参加率(第1子)	48.5%	48.7%	48.2%	66.4%	調査中		60%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、項目20の大阪府学力・学習状況調査の実施なし。

【令和元年度取組み】

- ・食育の日などにホームページを更新し、栄養に関する情報を発信。
- ・食育の日に教育委員会と連携して小・中学校給食で共通食材やテーマを設定し、食育の取組みを実施。
- ・ホームページでの情報発信、減塩レシピの作成、かるしおレシピの発信などを通して、減塩についての周知・啓発。

【令和2年度に向けた課題】

- ・朝食を食べる割合の向上については、子ども自身のみではなく、保護者に対しての働きかけが必要である。
- ・効果的な情報発信について、引き続き検討・実施する必要がある。

【令和2年度計画】

- ・学校と連携しての食育推進の継続
- ・保健所等の関係機関と連携した食育・栄養改善に向けた取組み、食環境づくりを検討する。
- ・様々な機会・媒体を活用し、効果的な情報発信を行う。

【令和2年度取組みと評価】

- ・毎月19日にホームページを更新し、栄養・食育に関する情報を発信した。
- ・健康づくり推進月間に、減塩・防災・親子クッキングをテーマとした動画を3本配信した。それにより、子育て世代から高齢者に至るまで、多くの方に食育や健康な食事についての啓発ができた。
- ・年間3回、全市的にできる食育啓発として共通食材や共通献立の提供を教育委員会と連携して実施。

【令和3年度に向けた課題】

- ・コロナ禍における食育啓発として、調理実習などが実施困難となっている。
- ・対象者に合わせた啓発方法を検討する中で、ICTを活用した情報発信の必要性は高まっている。
- ・教育委員会との連携

【令和3年度計画】

- ・情報発信の方法として、ホームページに加え、SNSを活用した方法も検討する。
- ・年間3回、共通食材や共通献立の提供を全市的に実施。

(2) 運動・身体活動、社会環境

目標

○市民に働きかけ、日常生活における身体活動・運動量を増やしていく。
 ○ウォーキングコースなどを活用した取組みを推進する。
 ○健康づくりに取り組む自主組織数を増加し、住み慣れた地域での活動を通じて、社会参加につながるよう支援を行う。

項目	目標項目		H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
25	運動の継続 1 回 30分・週 2 日・1年以上	男	46.0%	45.7%	43.7%	*R3年 11月確定			55.3%
		女	43.5%	42.0%	41.6%	*R3年 11月確定			48.5%
26	身体活動 日常生活で歩 行又は同等の 身体活動 1時 間/日以上実施	男	58.1%	58.6%	60.2%	*R3年 11月確定			63.5%
		女	59.1%	59.3%	57.4%	*R3年 11月確定			61.0%
27	健康づくり自主組 織数		53 団体	57 団体	58 団体	57 団体			90 団体

【令和元年度取組み】

- ・ウォーキングを年 7 回実施。
- ・健幸マイレージ事業の実施。

【令和 2 年度に向けた課題】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により事業実施が困難となっている。個人での運動量増加につながる取組みなどを検討する必要がある。

【令和 2 年度計画】

- ・市民が運動する機会につながる取組みの検討・実施。

【令和 2 年度取組みと評価】

- ・コロナ禍においても、ウォーキングを楽しみながら実施していただけるよう、他課と連携し、フォトラリーを実施した。
- ・健幸マイレージの参加賞の基準を 2000 ポイントに引き下げ、日頃から運動習慣がない方でも参加してみようと思えるきっかけとなった。
- ・6000ポイント以上貯めた方に抽選で豪華な景品が当たるように変更し、さまざまな運動習慣の方に活用できる仕組みにした。

【令和3年度に向けた課題】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止になっていたウォーキングの再開
- ・運動習慣継続のため事業を実施しているが、データを送信していない参加者がいるため、継続して参加できる仕組みづくりが必要である。

【令和3年度計画】

- ・コロナ禍においても、市民が安全に運動を行えるような取組みの検討・実施。

(3) 休養・睡眠

目標	
○適切な睡眠のとり方について知り、睡眠による休養がとれるようになることで、こころの不調や生活習慣病を予防する。	

項目	目標項目		H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
28	睡眠による休養を十分とれていない者の割合	男	27.3%	27.3%	27.9%	*R3年 11月確定			20% 未満
		女	31.6%	32.0%	31.9%	*R3年 11月確定			

【令和元年度取組み】

- ・周知・啓発を実施できなかった。

【令和2年度に向けた課題】

- ・正しい知識の啓発

【令和2年度計画】

- ・睡眠と休養に関して、ホームページを作成して周知・啓発を行う。

【令和2年度取組みと評価】

- ・睡眠と健康という内容でホームページを作成し、周知・啓発を行った。

【令和3年度に向けた課題】

- ・様々な機会を活用し、引き続き、周知・啓発を行う。

【令和3年度計画】

- ・健康づくり推進月間に「睡眠」に関する動画作成を行い、多くの市民へ睡眠に関する興味関心を持ってもらう。

(4) こころの健康

目標	
<p>○ストレスへの対処法を知り、実践することができるようになる。</p> <p>○メンタル不調を感じた時に、一人で悩みを抱えることなく相談や、医療機関への受診ができる。</p> <p>○地域でつながりを持ち、孤立することなく生活ができる。</p> <p>○上記により、自殺に追い込まれないよう支援する。</p>	

項目	目標項目		H30年度 (2018)	次回 アンケート結果	目標値
29	ストレスが多いと感じている者の割合	男	16.8%		20% 未満
	ストレスが多いと感じている者の割合	女	23.2%		

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
30	摂津市の自殺者数 (人口動態統計)	11人	20人	13人	現時点で 未公開			0人

【令和元年度取組み】

- ・個別相談についての対応を各相談窓口で実施。
- ・こころの健康に関するリーフレットの配布。
- ・母子保健において、妊娠期から子育て期において、精神面も含めた支援を行った。

【令和2年度に向けた課題】

- ・自殺者が0人になることを目指した取組みの継続実施。

【令和2年度計画】

- ・こころの健康に関する情報発信を強化する。
- ・相談機関が連携して取組みを推進する。
- ・母子健康手帳全数面接、エジンバラ産後うつ質問票を使用した産後うつの早期発見・支援の実施。

【令和2年度取組みと評価】

- ・こころの健康に関するホームページの更新。広報・ポスターなどで相談窓口を周知した。
- ・ゲートキーパーに関するリーフレットの作成・配布した。
- ・妊産婦に対して、産後ケア事業および産前産後ヘルパー事業を実施し、産後うつの予防に努めた。

【令和3年度に向けた課題】

- ・新型コロナウイルスの影響を鑑みて、こころの健康に関する情報の周知・啓発の強化が必要。
- ・継続して産後うつの予防、早期発見、早期支援を実施する。

【令和3年度計画】

- 健康づくり推進月間に、こころの健康を目的とした動画の配信。
- 相談機関が連携して取組みを推進する。

(5) 喫煙

目標	
○肺がん検診、特定健診、母子健康手帳交付時など、様々な機会を活用し、喫煙者に対して禁煙を提案していく。	
○禁煙を希望する場合は、禁煙治療の紹介などの禁煙サポートを実施する。	
○たばこが健康に及ぼす影響について啓発を実施していく。	
○路上喫煙禁止地区を設定するとともに、健康増進法等に基づき啓発を行うことにより、受動喫煙防止対策を推進する。	

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
31	成人の喫煙率(男)	24.7%	24.2%	24.2%	*R3年 11月確定			20%以下
	成人の喫煙率(女)	6.2%	6.2%	7.2%	*R3年 11月確定			5%以下
32	妊婦の喫煙率	2.0%	1.1%	0.6%	1.9%			0%
33	市内公立学校における敷地内禁煙の割合	100%	100%	100%	100%			100%
34	病院における敷地内禁煙の割合	50%	50%	75%	調査中			100%
35	公共機関(市の施設)における敷地内禁煙の割合	建物内 禁煙 100%	建物内 禁煙 100%	敷地内 禁煙 100%	敷地内 禁煙 100%			敷地内禁煙 100%
36	路上喫煙禁止地区の設定	2か所	2カ所	3か所	3か所			4か所

【令和元年度取組みと評価】

- 受動喫煙禁止地区を新たに指定し、周知を行った。
- 公共機関(市の施設)の敷地内禁煙を行い、目標の敷地内禁煙100%を達成した。

【令和2年度に向けた課題】

- 成人の喫煙率については横ばいで推移しており、喫煙率低下に向けた取組みをさらに実施する必要がある。
- 受動喫煙防止対策の継続実施。

【令和2年度計画】

- 様々な機会における禁煙指導の継続実施。
- たばこの害に関する周知・啓発の実施。
- 新たな受動喫煙禁止地区の指定に向けた検討。

【令和2年度取組みと評価】

- ホームページ上でたばこの害に関する周知・啓発を実施した。
- 新たな受動喫煙禁止地区の指定に向けた検討は行えなかった。

【令和3年度に向けた課題】

- 新たな受動喫煙禁止地区の指定に向けた検討。
- 引き続き広くたばこが健康に及ぼす影響について啓発していく。

【令和3年度計画】

- 受動喫煙防止対策の継続実施
- 様々な機会を活用し、情報の周知・啓発の実施。

(6) 飲酒

目標	
○飲酒が身体に及ぼす影響について啓発を行い、過度な飲酒を減らす。	
○妊婦の飲酒を防止するための働きかけを行う。	

項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
37	純アルコール摂取量(1日あたり) 男 40g以上 女 20g以上	男 15.0%	14.4%	19.1%	*R3年 11月確定			男 13.9%以下 女 4.7%以下 H26年度より 減少
		女 7.7%	6.9%	11.2%	*R3年 11月確定			
38	妊婦の飲酒率	0.2%	0.7%	0.1%	0.4%			0%

【令和元年度取組み】

- 各事業において、飲酒の健康影響等について啓発を行った。

【令和2年度に向けた課題】

- アルコールに関して、広く周知・啓発に取り組むことが必要。

【令和2年度計画】

- 情報発信の強化（ホームページや広報等を活用）

【令和2年度取組みと評価】

- ホームページにて飲酒と健康に関する情報を発信した。

【令和3年度に向けた課題】

- 広い世代に向け、アルコールに関して周知・啓発を行っていく。

【令和3年度計画】

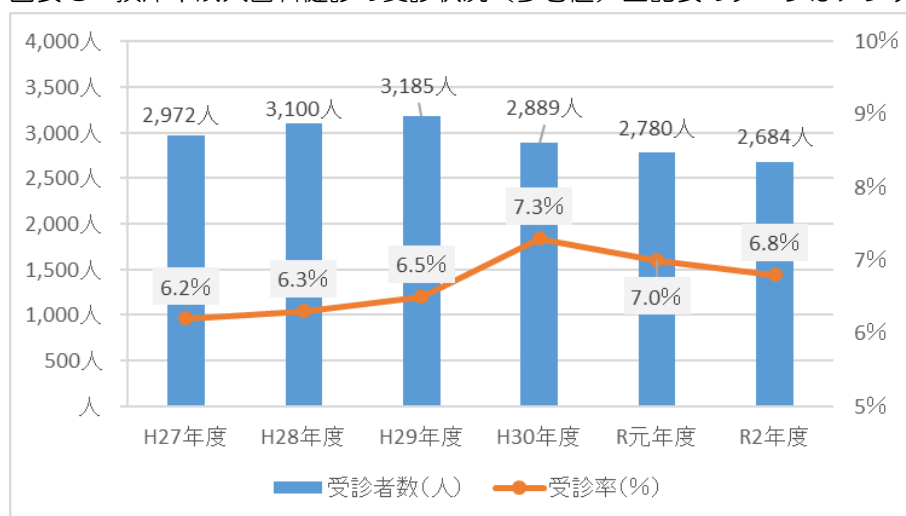
- 様々な機会において情報発信。
- 各機関と連携し、取組みを推進。

(7) 歯と口の健康

目標	
○	歯と口の健康づくり推進のため、歯科健診受診率向上に取り組む。
○	啓発を行い、市民の歯と口の健康づくりの意識向上を図る。

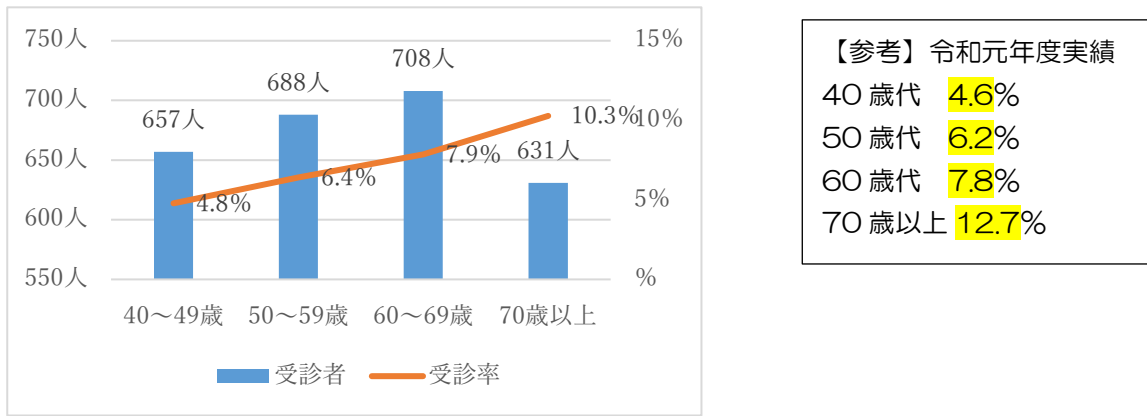
項目	目標項目	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	目標値
39	むし歯のない幼児 (3歳児)の割合	84.5%	86.0%	85.3%	88.8%			85%
40	過去1年間に歯科健診を受診した割合	アンケート未実施	63.1%	アンケート未実施	アンケート未実施			70%
41	1歳6か月児歯科健診受診率	99.0%	97.4%	97.1%	99.5%			現状値以上
42	2歳6か月児歯科健診受診率	90.8%	93.1%	92.5%	94.5%			
43	3歳6か月児健診歯科健診受診率	94.8%	93.2%	96.3%	99.3%			

図表 8 摂津市成人歯科健診の受診状況（参考値）上記表のデータはアンケートによるもの



※平成30年度から、後期高齢者歯科健診が開始となり、対象者が減少。

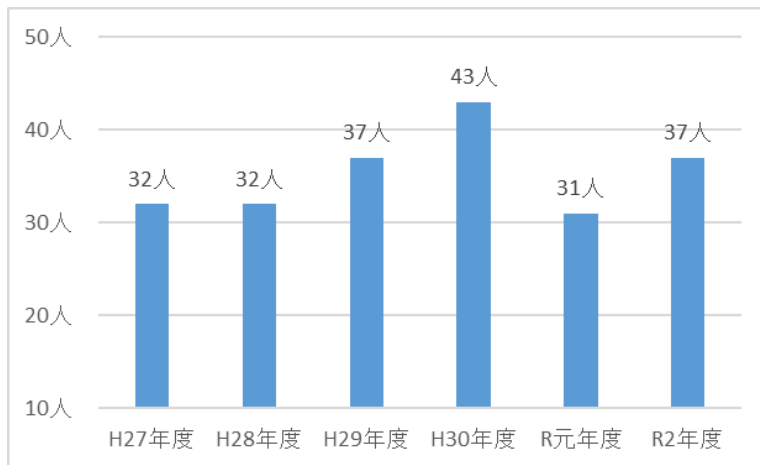
図表 9 摂津市歯科健診受診者年齢区分（令和2年度）



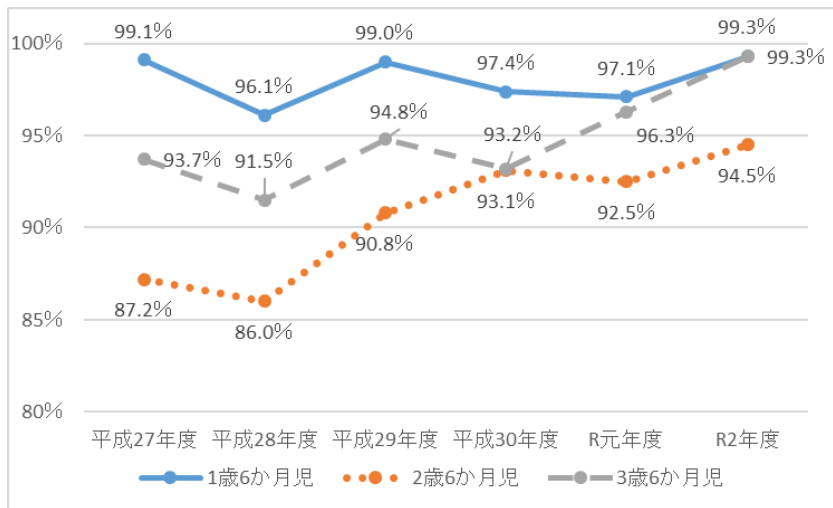
図表 10 摂津市歯科健診 無料クーポン利用者推移

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
40歳	14.7%	11.9%	14.0%	14.7%	12.0%	16.6%
45歳	12.7%	13.5%	13.8%	13.7%	12.5%	14.4%
50歳	16.2%	13.4%	13.1%	13.2%	12.6%	15.0%
55歳	13.5%	16.4%	13.7%	16.4%	16.1%	19.0%
60歳	16.4%	17.1%	16.5%	15.5%	16.1%	17.8%
65歳	20.9%	17.0%	17.7%	17.9%	15.6%	18.7%
70歳	20.8%	21.4%	20.2%	17.1%	19.4%	18.3%
全体	16.6%	15.3%	15.5%	15.3%	14.6%	16.9%

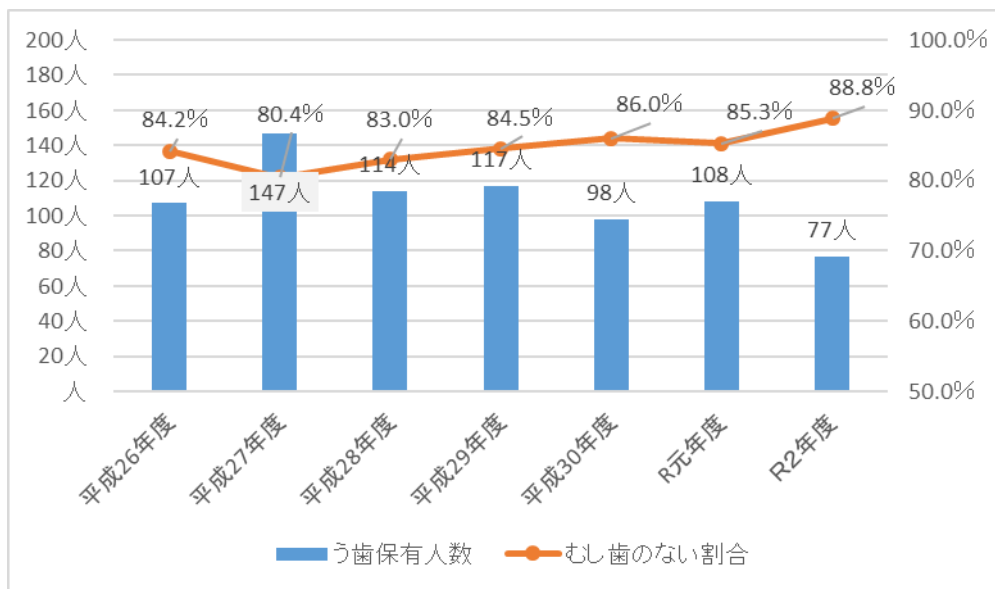
図表 11 摂津市高齢者訪問歯科健診 受診人数



図表 12 摂津市乳幼児健診における歯科健診受診率



図表 13 3歳児のう歯保有状況推移（3歳6か月児健診結果）
（※データは、う歯保有人数及びう歯が無い子どもの割合）



【令和元年度取組み】

- ・成人歯科健診のポスター掲示・広報・健診の受診勧奨等を実施。
- ・2歳6か月児歯科健診の未受診者勧奨を継続して実施。

【令和2年度に向けた課題】

- ・健診受診率の伸び悩み
- ・むし歯保有状況の改善に向けた取り組みの推進

【令和2年度計画】

- ・歯科健診の対象や内容の見直しを行い、より効果的な健診を目指す。
- ・歯科健診における指導内容の検討

【令和2年度取組みと評価】

- ・成人歯科健診のポスター掲示・広報・自治会回覧（6月）・健診等で受診勧奨を実施し、受診につなげた。
- ・2歳6か月児歯科健診未受診者受診勧奨を継続し、歯科衛生士による個別指導を充実させ、歯科保健の意識を高めた。

【令和3年度に向けた課題】

- ・健診の必要性や市の健診を受けるメリットが市民に伝わっていない可能性がある。
- ・無料クーポンをがん検診のクーポンと同封しているが、気付いていない可能性がある。
- ・むし歯保有状況の改善に向けた取り組みの推進。

【令和3年度計画】

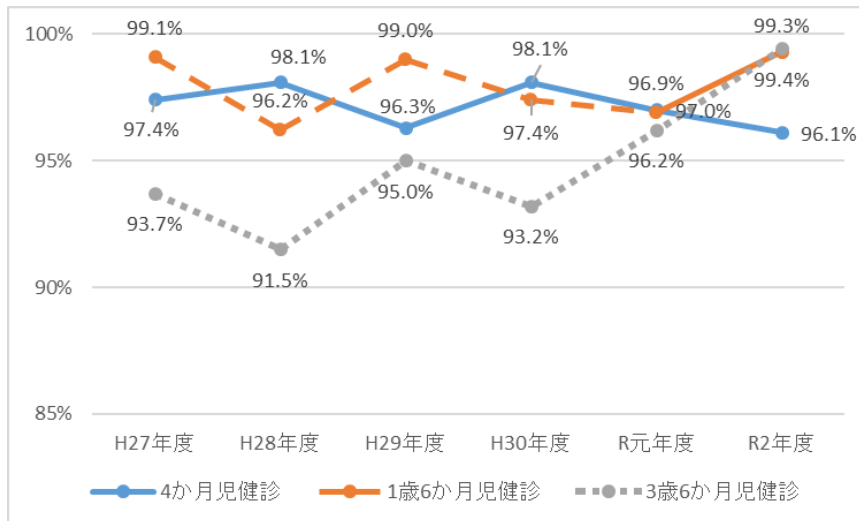
- ・受診勧奨のハガキの1回目の送付時期を健診が始まる5月に送付する。
- ・歯科健診啓発のポスターの内容やデザインの変更。
- ・5月の自治会回覧で歯科健診の受診啓発を行う。
- ・コロナワクチンの集団接種会場で、啓発のチラシを配布する。
- ・乳幼児歯科健診における指導内容の検討。

(8) 母子保健

目標	
○妊娠期から保健師、助産師による面接、訪問等の支援を実施し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを行います。	
○訪問、乳幼児健診などにおいて、発育、発達、育児などに関する不安解消のための相談ができる体制を作り、子どもの健やかな発達を支援します。	

項目	目標項目	H29 年度 (2017)	H30 年度 (2018)	R元 年度 (2019)	R2 年度 (2020)	R3 年度 (2021)	R4 年度 (2022)	目標値
44	4か月児健診受診率	96.3%	98.1%	97.0%	96.1%			現状値 以上
45	1歳6か月児健診受診率	99.0%	97.4%	96.9%	99.3%			
46	3歳6か月児健診受診率	95.0%	93.2%	96.2%	99.4%			
47	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	90.0%	90.3%	92.0%	87.4%			

図表 14 乳幼児健診受診率



【令和元年度取組み】

- ・母子健康手帳発行時に妊婦全数面接を実施。妊娠期から子育て期における継続支援を行い、安全な出産、安心した子育てに繋げた。
- ・健診内容の見直し、健診や訪問での対応の統一化を図り、保護者の育児不安や育児困難感の軽減を行った。

【令和2年度に向けた課題】

- ・子育て世代包括支援センターにおける切れ目のない支援体制の整備

【令和2年度計画】

- ・関係機関における発達支援体制の見直し
- ・産後うつ予防に対する支援体制の構築

【令和2年度取組みと評価】

- ・関係機関と協議の場を持ち、発達支援の体制と課題を確認した。
- ・妊娠期からの支援を見直し、産後ケア事業、産前産後ヘルパー事業を開始した。それにより、産後うつ予防・早期発見の体制を強化することができた。

【令和3年度に向けた課題】

- ・子育て世代包括支援センターにおける切れ目のない支援体制の整備

【令和3年度計画】

- ・関係機関における発達支援体制の強化
- ・産後うつ予防に対する支援体制の強化

(9) 北大阪健康医療都市（健都）を中心とした健康・医療のまちづくり

目標

- 北大阪健康医療都市（健都）を中心に、循環器病をはじめとする生活習慣病の予防と健康づくりの先進地域づくり（健康・医療のまちづくり）を推進する。
- 「連携・協力に関する基本協定」を締結した国立循環器病研究センター（国循）をはじめ様々な主体との連携・協働を促進し、市民の疾病予防・健康づくりを推進する。
- 国立健康・栄養研究所（健栄研）と協力し、市民に対する運動・栄養に関する情報発信を強化するとともに、生活習慣の改善、疾病予防、重症化予防に取り組む。

【令和元年度取組みと評価】

- ・大阪府・健栄研と連携した健診の実施や健康まつりでの取組みを通して、フレイルに関する啓発を実施できた。

【令和2年度に向けた課題】

- ・ハード面が整い、今後は健都でどのように事業を行い、市全体に展開していくかについて検討が必要。

【令和2年度計画】

- ・国循、健栄研、三師会等と連携し、市民公開講座、情報発信等を行うことにより、健康づくりを推進する。

【令和2年度取組みと評価】

- ・健都ポータルサイトやパンフレット等を通じ、健都や健康にかかる情報を広く発信した。これにより、「健都」について、市民やそれ以外の人へも情報を伝えることができた。
- ・吹田市と共に産官学民連携プラットフォーム事業を開始し、多くの民間企業や大学、研究機関が連携できるプラットフォームの構築を行った。
- ・国循や健栄研、三師会と連携し、STOPMI、CHECKFAST、フレイル、健診等の啓発動画を作成・配信した。それにより、多くの市民に正しい知識を伝えることができた。

【令和3年度に向けた課題】

- ・健都の魅力や、健都でできることを具体的に発信していくことが必要。

【令和3年度計画】

- ・循環器病予防の動画を作成し、ホームページ上で配信する。
- ・令和4年度に予定されている健栄研の移転を見据え、国循や吹田市と連携を深めることでスムーズな移転をめざす。
- ・産官学民様々な企業や大学、市民が健都でつながれるプラットフォーム事業が円滑に進むよう、関係機関で協議を重ねる。

令和 3 年度新型コロナウイルス感染状況下における健康づくりについて

昨年より猛威を振る新型コロナウイルス感染症は、従来の集客型の健康づくり事業の在り方を考え直すきっかけとなり、現在は、「ウイズコロナ」を見据えた健康づくり事業が重要となっている。

また、生活習慣病などの基礎疾患が、コロナ感染症の重症化リスクであるなど、市民の健康に関する意識も高まっている状況である。

このことから、健康的な生活習慣に関する情報を、より分かりやすく、多くの市民に幅広く働きかけるため、昨年に引き続き、健康づくりに関する動画を作成し、市ホームページから配信する。これにより、日にちや時間帯を問わずに視聴できるため、従来の公開講座への参加が難しかった層（仕事を持つ方や子育て世代など日中に時間が取りにくい方）へも働きかけることができる。

また、摂津市の地形を生かし設定したウォーキングコースを活用し、個人でいつでも実施できるウォーキングを日常生活の中に組み込めるよう、健幸マイレージ事業を継続し、ウイズコロナでも運動できる環境を整える。

令和2年度予防接種実施報告

資料3

予防接種名	令和元年度			令和2年度			予定者の考え方	
	予定者数	実施者数	接種率	予定者数	実施者数	接種率	～令和元年度	令和2年度
B型肝炎 1回目	782	764	97.7%	605	596	98.5%	0歳児	令和2年度末で1歳に達する住民、かつ出生時より住民である方
ヒブ(Hib) 1回目	1,183	775	65.5%	605	598	98.8%	0歳児＋1歳児半分	
小児肺炎球菌 1回目	1,183	781	66.0%	605	598	98.8%	0歳児＋1歳児半分	
4種混合 1期1回目	1,183	785	66.4%	605	600	99.2%	0歳児＋1歳児半分	
BCG	770	778	101.0%	605	598	98.8%	0歳児	
MR 1期	834	794	95.2%	778	776	99.7%	1歳児	1歳(令和2年10月1日時点)
MR 2期	740	680	91.9%	727	668	91.9%	5歳児	令和2年度中に6歳となる者(前年度末時点5歳)
水痘 1回目	802	804	100.2%	610	584	95.7%	1歳児	令和2年度末で2歳に達する住民、かつ出生時より住民である方
日本脳炎 1期1回目	1,156	810	70.1%	552	499	90.4%	3歳児＋4歳児半数	令和2年度末で4歳に達する住民、かつ出生時より住民である方
日本脳炎 2期	1,116	577	51.7%	486	275	56.6%	9歳児＋10歳児半分	令和2年度末で11歳に達する住民、かつ出生時より住民の方
DT 2期	737	519	70.4%	470	341	72.6%	11歳児	令和2年度末で13歳に達する住民、かつ出生時より住民の方
ロタウイルス				450	414	92.0%		令和2年8月1日～令和3年3月31日生まれ
HPV 1回目	1,446	3	0.2%	2,170	87	4.0%	12歳から15歳の女性	11～16歳(令和2年10月1日時点)
成人MR	妊娠を希望する女性など	MR90名 風しん13名	-	妊娠を希望する女性など	MR92名 風しん15名	-		
高齢者 インフルエンザ	22,024	10,902	49.5%	22,239	15,169	68.2%	当該年度4月末時点の65歳以上年齢別人口	
高齢者 肺炎球菌	2,939	635	21.6%	2,965	645	21.8%	当該年度4月末時点の65歳以上の5歳刻み (R2からは100歳以上の方は対象外)	
風疹5期	232	185	79.7%	219	187	85.4%	当該年度抗体検査の結果で抗体なしの人	
※MR1期、MR2期、HPVの対象者数、接種済数は府報告基準で集計。								
※風疹5期は、10,485名にクーポンを送付し970名が抗体検査を実施(受診率9.3%)								

新型コロナウイルスワクチン接種について

【概要】

- ・ 予防接種法の特例接種として、厚生労働大臣の指示のもと都道府県の協力により、市町村が実施
- ・ 期間：令和3年2月17日から令和4年2月28日まで
- ・ 対象者：市内に居住する12歳以上の者

【接種体制】

○高齢者施設での接種

4月16日から開始。大阪府から先行して配分された200人分のワクチンを使用。

○集団接種

5月15日から開始。

会場：保健センター、市民文化ホール、新鳥飼公民館、別府コミュニティセンターの4か所。
市民の利便性向上のため、土日にバスを運行。

○個別接種

市内医療機関（34医療機関）の協力の下、実施。

【予約について】

○コールセンターでの電話及びLINEによる予約受付

集団接種及び個別接種の一部（希望する医療機関のみ）について、市が設置したコールセンター及びLINEで予約する体制とした。

【接種状況】 ※8月13日時点

12歳以上の接種対象者数：77,863人

うち接種者見込み数：53,375人

1回目接種済者数：32,681人（人口比接種率42.0%、見込比接種率61.2%）

2回目接種済者数：24,298人（人口比接種率31.5%、見込比接種率45.9%）

【課題】

- ・ 希望する市民に対して、速やかにワクチン接種を実施できる体制整備
そのために、市民への啓発、医療機関との情報共有、ワクチンの確保などを行う。
- ・ 情報へのアクセスが困難な市民への支援の実施
ケアマネジャー、ライフサポーター、民生委員等を通しての周知を行う。
また、接種希望者に対して、個別に必要な支援を検討・実施する。
- ・ 3回目接種の実施に向けた体制整備
国が検討している3回目の接種について、国の動きを注視しつつ、必要な体制を検討・整備する。